

# 股関節周辺の痛みの原因を知ろう

川口市立医療センター

整形外科

つちはし

土橋

のぶゆき

信之



足の付け根やお尻など股関節周辺の痛みの症状はさまざまで、お悩みのかたも多いと思います。転倒や何かにぶつけたなど、痛みの原因が明確な場合は受診の判断もつきやすいのですが、原因がはっきりしない場合には「まだ歩けるから様子を見よう」、「痛くないときもあるからまだ病院には行かなくても大丈夫」などと受診を控えてしまうこともあるでしょう。しかし、「股関節が痛いと思っていたら腰が悪かった」というように痛みの原因が別にあることや、急に歩けなくなり手術が必要となることもあるので、痛みの原因は早いうちにある程度知っておくことが大切です。

股関節周辺の痛みの原因は大きく3つに分けられます。筋肉に関する痛み、腰からくる神経痛、そして股関節を形成する骨に関する痛みです。寝ているときに痛みが出たり、疲れてくると痛み出す場合は神経痛の可能性があるので、そのままにせず早めに受診をしましょう。

骨に関する痛みには骨折以外にも「変形性股関節症」や「<sup>だいたいこつとうえ</sup>大腿骨頭壊死症<sup>しししょう</sup>」という疾患があります。原因や進行度合いは異なりますが、共に股関節が変形してしまう疾患です。痛みが強く、歩行や階段の上り下りが困難になるなど日常生活に支障が出るほか、痛みが無い場合でも変形が進むと股関節が硬くなるため、足の長さが変わってしまい歩きにくくなることで、腰や膝に過度の負担が生じます。そのため、このような患者に対して当院では「人工股関節置換術」を行い、股関節の痛みを取るだけでなく、再び安定した歩行ができるようになることを目指しています。

「高齢だから…、手術が怖いから…」と諦めてしまわず、早期に整形外科へご相談ください。